

1. プログラムの概要

国内外で起きている社会諸問題について国際的な視点から考え、**多文化共生・異文化理解に対するリテラシーおよび発信力の養成を目的**とした「履修モデル」。誰でも履修可能！

<履修指定科目>

履修推奨時期	配当回生	科目名	単位	備考
1回生秋学期	1 回生以上	国際社会入門	2	学部基礎専門科目
2回生春学期	2 回生以上	グローバル社会論	2	発展科目
<展開英語科目軍>				
2回生春学期	2 回生以上	Reading & Discussion 1	1	発展科目
2回生秋学期		Reading & Discussion 2	1	
2回生春学期		Presentation Skills 1	1	
2回生秋学期		Presentation Skills 2	1	
3回生春学期		English in the Media 1	1	
3回生秋学期		English in the Media 2	1	
3回生春学期		English in Film 1	1	
3回生秋学期		English in Film 2	1	

<履修選択科目>

配当回生	科目名	単位	
2 回生以上	異文化理解フィールドワーク	2	・ 学部基礎専門科目 ・ 夏期休暇中などに国内外のフィールドワークを行う講義 ・ 重複受講可
1 回生以上	Intensive Language Workshop	2	教養科目
	Language for Academic Communication	2	

合計12単位でプログラム修了認定

【標準的な例】 履修指定科目10単位＋履修選択科目2単位
※どの科目からどれほど単位を修得するかは自由

2. 履修指定科目

<履修モデル>

講義科目



国際社会入門
(1回生秋)

深化



グローバル社会論
(2回生春)

語学科目



Reading & Discussion 1・2
(2回生春・秋)



Presentation Skills 1・2
(2回生春・秋)

※「English in the media 1・2」、「English in film 1・2」も2回生時に上記の科目と同時受講可能ですが、上記の**応用編**なので、**3回生以降の受講を推奨**しています

<学び>

例えば？

国際社会入門

* 1回生秋学期から受講可能

- 国際社会入門では、趣味やバイトといった日常を糸口に、移民や環境問題などの国際的な主題を議論します
- 留学しなくても一度も地元から出なくても、私たちはすでに国際的

外国語を喋る、留学する……とは異なる面から

「国際的」で居続け、「国際的」なことを面白がるための概念を、身近な形で学びます



国際社会入門 は、フィールドワークをはじめとするあなたの国際的な「体験」を、日常を通じた「学び」に変換するための手助けをします！

3. 履修選択科目

異文化理解フィールドワーク (2回生以上)

Intensive Language Workshop
(1回生以上)

Language for Academic Communication
(1回生以上)

<異文化フィールドワークの実施例>



さんしゃで学べる世界
フィールドワークの舞台



ポーランド
と福祉

台湾と
社会保障

アメリカと
スポーツ

ベトナムと
福祉

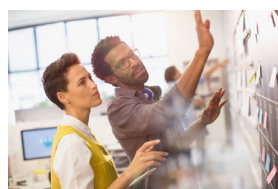
韓国と
メディア



基礎的な
レクチャー



調査・渡航
の準備



フィールド
ワーク



※年度により、開講クラス、渡航先は変更になる可能性があります
※担当の先生によって授業の進め方は異なります

※国際社会入門、グローバル社会論と一緒に受講することをお勧めします

4. 受講の組み合わせ ※1回生の場合

年次	1 回生	2 回生		3 回生	
		春	秋	春	秋
科目名	国際社会入門	「グローバル社会論」 「Reading & Discussion 1・2」 「Presentation Skills 1・2」		English in the media 1・2」 「English in film 1・2」	

異文化理解
フィールドワーク

異文化理解
フィールドワーク

3～4年間、国際化関連の講義や語学の学習の上に、現地を訪れて何度もフィールドワークを重ねることで、国際社会のなかで生きる基礎的な能力と倫理、感覚を養う。

5. 展開英語科目 英語力と思考力をさらに鍛える



「Reading & Discussion」
国内外の社会に関する文章を critical に読んで議論する

「Presentation Skills」
自身の経験や収集したデータを論理的・効果的に伝える

「English in Film」
ドキュメンタリー映像や映画を理解し critical に考える

「English in the Media」
英語の新聞や報道番組を通して社会を critical に見る